

補助金の適正化に係る外部評価（個別評価）

No.	補助名	判定	判定の理由		その他意見
			補助金等適正化に関するガイドラインに基づく意見	補助制度趣旨等に関する意見	
1	朝来市 JR 播但線団体 利用促進補助金	継続		<ul style="list-style-type: none"> ● 補助制度ができた経緯を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広報方法の工夫が必要である。
2	朝来市自主防災活動 支援事業	改正		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域が整備しやすいように、補助制度の拡充を検討してはどうか。 	<p>補助の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に1/2の負担を求めることが良いのかも含め、補助率を検討してはどうか。 <p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍であっても防災意識が低下しないように事業推進の工夫が必要である。
3	朝来市自主防災リー ダー育成事業	廃止②	<ul style="list-style-type: none"> ● 交付実績がないことを踏まえ、補助目的を果たせているか、補助制度の効果を検証する必要がある。 		<p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資格取得前に申請することは補助金活用のハードルが高い。防災士資格取得促進に向けた他の取組を検討してはどうか。（例：防災士を取得している防災委員の報酬加算等）
4	朝来市消防団員準中 型自動車運転免許等 取得費補助金	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 交付件数が少ないようであれば、補助目的を果たせているか、補助制度の効果を検証する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助制度ができた経緯を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若い人や女性なども含めた消防団員の確保に向けて、普通運転免許でも対応可能な車種への転換を検討してはどうか。
5	こども医療費助成事 業	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 県事業と連携しているが、市負担割合は市独自政策であるため、定期的に効果検証を行うためにも、実施期間を区切ることを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して医療を受けることができる環境づくりや子育て支援施策として、必要な補助制度である。 	<p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本制度を移住・定住につなげていくためにも、市内外への広報方法の工夫が必要である。

No.	補助名	判定	判定の理由		その他意見
			補助金等適正化に関するガイドラインに基づく意見	補助制度趣旨等に関する意見	
6	未熟児養育医療費助成事業	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 国・県事業と連携しているが、市負担割合は市独自政策であるため、定期的に効果検証を行うためにも、実施期間を区切ることを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して医療を受けることができる環境づくりや子育て支援施策として、必要な補助制度である。 	
7	高校生等医療費助成事業	改正	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施期間を区切り、効果検証を行うことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援施策として、必要な補助制度である。 	<u>補助対象の拡充</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 他市の状況を踏まえ、通院医療費も助成対象に追加することを検討してはどうか。 <u>事業推進方法</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 本制度を移住・定住につなげていくためにも、市内外への広報方法の工夫が必要である。
8	人権教育・啓発推進事業補助金	改正	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助対象者である団体の組織構成上、自主財源がなく、全額補助金で事業実施がなされることは理解できる。 ● 補助対象外経費として食糧費及び親睦費を明記することが必要である。（現状は、研修講師弁当代・お茶代のみであり、研修開催経費として捉えることが可能。） 		
9	身体障害者自動車運転免許取得費補助金	廃止②	<ul style="list-style-type: none"> ● 交付実績がないことを踏まえ、補助目的を果たせているか、補助制度の効果を検証する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国・県の制度の状況を踏まえながら、身体障害者の就労等社会参加のための支援制度（運転免許取得以外の資格取得支援等）を再検討する必要がある。 	
10	老人クラブ等社会活動促進事業補助金	改正		<ul style="list-style-type: none"> ● 老人クラブは重要な組織であり、高齢者の活動の活性化を図るためには、必要な補助制度である。 ● 補助制度を通じて、老人クラブの活性化や高齢者の社会活動をさらに促せるような工夫が必要である。（例：子ども会など他団体と連携して活動した場合は補助金を加算するなど。） 	
11	社会福祉協議会等活動補助金	改正	<ul style="list-style-type: none"> ● 要綱に補助対象外経費、補助率、上限額の規定がないことの理由が不明確である。公平性を担保するために、明確な理由がない場合は、要綱に規定することが必要である。 		

No.	補助名	判定	判定の理由		その他意見
			補助金等適正化に関するガイドラインに基づく意見	補助制度趣旨等に関する意見	
12	一般不妊治療費助成金	継続		<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少・少子化の中、不妊治療を必要とする夫婦が増えている経緯を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>補助対象の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本市の医療機関へのアクセス状況を踏まえ、医療機関への交通費を補助対象にすることを検討してはどうか。
13	不妊治療ペア検査助成金	継続		<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少・少子化の中、不妊治療を必要とする夫婦が増えている経緯を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>補助対象の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市単独事業として補助対象の所得制限を外し、県内における朝来市の独自性を出すことを検討してはどうか。
14	骨髄等移植ドナー支援事業助成金	継続		<ul style="list-style-type: none"> ● 補助制度ができた経緯を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>成果指標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 補助制度の有効性を明確にするためにも、成果指標の再考が必要である。
15	がん患者医療用補整具購入助成金	継続		<ul style="list-style-type: none"> ● 補助制度ができた経緯を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>補助対象の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな補整具が開発される中で、現行要綱で定めた県補助対象と同じものだけで良いのか、補助対象となる補製具を定期的に見直すことが必要である。
16	朝来市街なか活性化補助金	廃止①		<ul style="list-style-type: none"> ● 他の制度（にぎわい創出事業）で対応が可能である。 	<p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロングタームマネジメントに基づき、市が目指す方向性と対象となる業態との整合性を図った制度設計が必要である。
17	朝来市サテライトオフィス等開設補助金	継続		<ul style="list-style-type: none"> ● 移住促進につなげるための新たな多様な働き方の推進を踏まえると、必要な補助制度である。 	<p>補助対象の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空き家活用以外に、新築を補助対象にすることを検討してはどうか。 <p>事業推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広報方法の工夫が必要である。

No.	補助名	判定	判定の理由		その他意見
			補助金等適正化に関するガイドラインに基づく意見	補助制度趣旨等に関する意見	
18	朝来市住宅リフォーム工事補助金	改正		<ul style="list-style-type: none"> 補助金限度額が低く、住宅リフォームへの誘引につながりにくい。 	補助の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 築年数や所在地等により補助金限度額を変更し、市が目指す方向性へ誘引することを検討してはどうか。
19	破損空家等除去支援補助金	改正		<ul style="list-style-type: none"> 空き家を放置されることのないように、補助制度の拡大を検討してはどうか。 	補助の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 物価高やアスベスト対策などを踏まえた補助金限度額の見直しが必要ではないか。
20	朝来市国際交流協会補助金	改正	<ul style="list-style-type: none"> 海外派遣事業引率者の旅費に係る補助金は、「朝来市職員等の旅費に関する条例」に基づき算出した額かつ上限額が設定されており、補助率が補助対象経費の全額でも理解できる。 市の徴収金の完納を交付条件に設定していないことについて、生存権の保障に支障を及ぼす内容ではないため、交付条件として明記しても良いのではないか。 		事業推進方法 <ul style="list-style-type: none"> グローバル人材の育成が目的であるならば、派遣先は柔軟に対応することも必要である。
21	英語検定料補助金	継続	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では補助の効果は評価できないが、効果検証時には、本制度を設ける前後の受験率(受験者数/全生徒数)の推移を確認し、判断することが必要である。 		事業推進方法 <ul style="list-style-type: none"> 英検は英語力の向上には一つの方策であるが、効果検証時に、小学生(5級から)やTOEICなども補助対象にするかどうかを検討してはどうか。
22	日本オオサンショウウオの会・朝来大会実行委員会補助金	廃止①		<ul style="list-style-type: none"> 事業終了に伴い廃止する。 	事業推進方法 <ul style="list-style-type: none"> 事業終了で終わりではなく、オオサンショウウオを中心とする自然環境保全の取組をはじめ、自然との共生の取組を継続することが必要である。

※評価区分

- ・継続 …… 補助制度として継続するもの
- ・改正 …… 補助制度の改正が必要なもの
- ・廃止① …… 補助制度として廃止するもの
- ・廃止② …… 補助金等適正化に関するガイドラインに基づき、一旦廃止し、効果検証の上、必要に応じて検討するもの